

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Apr 2013.4  
No.1014



表紙 本別高等学校普通科  
第65回卒業証書授与式

特集

町政執行方針・教育行政執行方針

## 町民の個性と元気が 発揮できるまちづくり

# 町民の個性と元気が発揮できるまちづくり

## 町政執行方針

3月5日の町議会第1回定例会で、町政執行方針と教育行政執行方針が述べられ、平成25年度のまちづくりの方向性が示されました。その概要をお知らせします。



町政執行方針を述べる高橋正夫町長

平成25年町議会第1回定例会の開会にあたり、新年度の町政執行に臨む基本的な考え方と施策の大綱について申し上げ、町民の皆さまの特段のご理解とご協力を賜りたいと存じます。早いもので、私が町長に就任させていただきましてから、4期16年を年度半ばに迎えることとなりましたが、この間、町民の皆さまのご支援・協力を賜り、創意と活力に満ちたまちづくりが推進できましたことに対し、改めて敬意を表し、深く感謝を申し上げます次第であります。

### 町政に臨む基本姿勢

昨年12月に行われた総選挙で自民党が圧勝し、第2次安倍内閣が誕生いたしました。安倍内閣は、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を

喚起する成長戦略という「三本の矢」で「長らく円高・デフレ不況から脱却し、雇用や所得の拡大を目指す」としています。また、新年度の国の予算編成方針として、「復興・防災対策」「民間投資の喚起や中小企業対策などを通じた成長による富の創出」「暮らしの安心・地域活性化」の三つを重点分野として掲げています。

一方、地方財政対策としては、自治体の裁量で自由に使えるようにするため導入された「地域自主戦略交付金」（一括交付金の廃止が決まりました。これにより、それぞれの自治体が地域の特性や資源を活かした施策を自主的・自立的に展開する地方分権の停滞も危惧されています。町財政では、町税は農業関連

### 平成25年度 主要な施策推進の基本的な考え方

については引き続き反対の取り組みを進めてまいります。具体的には、農業後継者等を対象とした農業塾による担い手の育成・確保対策を柱に環境保全型農業対策、農地集積対策、鳥獣被害防止対策、土づくり事業および地場産品の付加価値向上対策の実施など、効率的かつ安定的な施策を展開してまいります。また、てん菜については、輪作体系の確立と作付面積の確保に向けた圃場の透排水性改善対策に取り組んでまいります。

次に、畜産振興につきまして、良質で安全・安心な生乳の増産体制を確立するため乳牛導入事業と黒毛和牛繁殖雌牛の保留事業を推進します。また、家畜自衛防疫体制の強化に努め、さらに、家畜排せつ物の管理適正化を進めてまいります。

農地の基盤整備については、引き続き食料供給基盤強化対策事業に取り組み、受益者負担の軽減を図るなど土地基盤整備事業を計画的に推進してまいります。また、農地・水保全管理支払制度により農地、農業用施設等の保全管理と、農村環境保全向上の取り組みに対し支援してまいります。

次に、林業の振興につきましても、民有林の造林および保育事業に対する助成の見直しを行



「農産物ものづくり館」を核として食を通じた町の活性化を図ります

い、造林未済地の解消対策を強化します。併せて、担い手の育成・確保を図ってまいります。町有林については、健全な森づくりに向けた事業の推進と循環型林業の構築を図ってまいります。また、植樹祭などの開催により、森林の持つ多面的機能の周知拡大および緑化思想の普及推進を図ります。

次に、商工業につきましては、これまでに引き続き、きめ細やかなサービスやプレミアム商品券の発行など、付加価値を付けた取り組みを行い、活気のある商店街づくりを目指してまいります。また、昨年4月に開設した「農産物ものづくり館」を核として、加工技術の向上や人材

育成に努め、町の活性化を図ってまいります。さらに、新規開業や新分野での事業活動、工場等の新設・増設に対し、積極的な支援を行い、雇用の創出・安定化を図り、商工業の振興に努めてまいります。

次に、観光の振興につきましても、義経の里本別公園や道の駅などの観光施設の整備と併せて、農業や地域の人々との交流、さらには町の特産品を中心とした本別ならではの「食」などを、魅力ある地域資源として整備を図り、観光の振興に努めてまいります。また、インターネット、ケーブルテレビなどのメディアを最大限活用し、町の情報発信の推進を図ります。

次に、移住・地域交流につきましても、田舎へのあこがれや退職期を迎えた方々など、経験豊かな人材の移住・交流を促進し、地域の活性化を図ってまいります。

### ③ともに支えあい、安心、安全に暮らせるまちづくり

ともに支えあい、いつまでも安心して暮らせるまちを願って宣言した「福祉でまちづくり」を合言葉に、地域住民、福祉団体、事業者、行政がそれぞれの



充実した子育て支援の推進を図り、次代を担う子どもたちの健やかな心を育みます

### ①生涯を通じて学び、豊かな心を育むまちづくり

子供たちは、次代を担う宝、私たちの希望でもあり、子供たちが未来に大きな目標を持って生きていく心を育む環境をつくり上げることが求められています。

そのためには、家庭・学校・地域が融合し、「ほんべつ学びの日」の理念の下、「4つの風」をまちの中に吹き渡らせてまいります。さらに、生涯の各時期における社会教育の充実に努めるとともに、地域コミュニティの基盤形成に努めてまいります。

### ②地域資源を活かした豊かなまちづくり

本町農業を取り巻く情勢は、T P P問題、戸別所得補償制度の抜本的な見直しが見込まれるなど依然として厳しい環境にあります。このような状況の中、「本別町農業基本構想」に基づき、諸施策に取り組んでまいります。また、T P P問題に





メガソーラーで、  
クリーンなまちづ  
くりを目指します

#### ④ 快適で やさしさのある まちづくり

本年度の町道整備につきましては、継続事業で5地区、新規事業では橋梁長寿命化計画に基づく橋梁補修工事ほか道路改良工事2地区を実施してまいります。

交通体系につきましては、安定的な運行に努めるとともに、太陽の丘循環バスにつきましては、運行ルートや停留所などの見直しを図り、コミュニティバスとしての機能向上に努めます。

次に、循環型地域社会につきましては、家

庭や職場・地域でできる省エネルギー対策の普及活動を推進してまいります。また、引き続き街路灯のLED化を進め、CO<sub>2</sub>削減による地球温暖化防止への寄与と、消費電力削減による省エネルギー化を目指します。

次に、水道は、施設の整備や維持管理を計画的に進め、安全で良質な水を安定的に供給できるように努力してまいります。

下水道につきましては、施設の整備と維持管理に努め、浄化槽整備事業についても、引き続き事業の推進を図ってまいります。

公営住宅の整備につきまして、住環境の向上を図るため「本別町住宅政策推進計画」に基づき実施してまいります。

公園緑地の整備につきましては、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業により、都市公園の改築・更新を行い、快適な環境づくりに努めてまいります。

本町の有効な土地利用を図るため、本別町都市計画マスタープランを基本として、本年度から2か年で用途地域の見直しを行います。

ごみ処理事業の推進につきましては、地域、町民の皆さまのご協力により、ごみの減量化や資源化を進めております。今後より一層のリサイクル率の向上

を目標してまいります。

#### ⑤ 町民力、地域力、 行政力が発揮 できるまちづくり

これまでに培ってきた町民力、地域力、行政力が発揮できるまちづくりを進めます。併せて、行政の持つ情報を積極的に公開し、町政の「透明性・公平性」に努めてまいります。

次に、行政改革の推進につきましては、「新しい公共」をテーマとした第4次行政改革大綱および推進計画に基づき、体力のあるまちづくりを目指します。

広域行政の推進につきましては、十勝の市町村と連携し、定住自立圏構想の取り組みを積極的に推進してまいります。

さらに、現在、十勝圏複合事務組合において消防広域化の検討を行っており、今後とも構成団体として、十勝圏域全体から信頼される消防体制の構築に向けた取り組みに参加してまいります。

また、高速自動車道路網を利活用した近隣市町村との連携による交流人口の拡大と地域経済の活性化を目指します。

「本別町個性あるふるさとづくり寄付金」は、個性と魅力あ



国際交流を通して見聞を広め、感性を豊かにします

本町を取り巻く環境は一段と厳しさを増しておりますが、「まち」を支える町民の皆さまの頼もしい力を得ながら、「ともに学び支えあい、活力のあるまちづくり」を目指すとともに、地域資源を最大限活かした企業誘致、雇用の拡大に向けて全身全霊を傾け積極果敢に取り組んでまいります。

努力してまいります。

防災対策につきましては、一次的に食料・物資等の整備を行い、町民生活の安心・安全を確保するとともに、「防災研修会」等を開催し、防災意識の高揚を図ります。

さらには、交通事故のない、犯罪のない明るく住みよいまちを目指し町民一人ひとりの防犯・交通安全意識の啓発に努めてまいります。

健康管理センター事業につきましては、各種検診業務や健康教育などの充実を図ります。

母子保健につきましては、入院治療を必要とする未熟児に対して養育医療の給付事業を行います。

引き続き、介護サービスの提供基盤ならびに老人ホームの施設整備、運営のあり方について引き続き検討してまいります。

次に、国民健康保険特別会計につきましては、本年度も税率改正は行わず、基金の繰り入れなどで対応してまいります。

後期高齢者医療特別会計につきましては、今後とも高齢者等にかかる医療制度の情報収集を

るふるさとづくりを全国にPRし、有意義な運用を図ってまいります。

国際交流・地域間交流活動の効果は、豊かな感性を醸成するなど、まちづくりを進める上で大きな力となることから、引き続き地域間交流活動を進めてまいります。

市民後見人養成研修修了生。  
誰もが安心して本別町で暮らせるよう、「権利擁護」意識の普及を図ります



役割を担い、重層的な福祉サービスのネットワークづくりを進めてまいります。

地域福祉の充実につきましては、「在宅福祉ネットワーク」活動への支援「安心生活創造事業」の充実にも努めるとともに、災害時要援護者避難支援計画につきましても、引き続き推進してまいります。

子育て支援につきましては、育児に関する相談等の支援や保育士の研修等による保育の質を高めるとともに、発達の違いや障がいのある幼児・児童への相談支援の充実を図るため、発達支援センター（ことばの教室）を中心に、関係機関と連携して早期発見と適切な対応を図ってまいります。

地域での子育てサークルや「すきやき隊」による支援活動につきましては、子育て支援センターを中心に町民の皆さまと一緒に取り組むとともに、児童館事業など、子供たちの安全で健全な居場所の確保と健全育成に努めてまいります。

また、生活困窮者をめぐる問題が深刻化する中で、生活の安心の拡大に向けた支援体制の整備に関する検討を引き続き進め

てまいります。

高齢者福祉および介護保険事業につきましては、道の介護基盤緊急整備事業等特別対策事業を活用し公共施設の改修整備を進めます。

地域包括支援センターでは、介護予防マネジメント、総合相談支援、高齢者・障がい者虐待防止や介護相談員、やすらぎ支援員の派遣事業など活動の充実にも努めるとともに、さらなる介護予防事業の充実を図ります。

権利擁護事業につきましては、社会福祉協議会による法人後見業務の取り組みとあんしんサポートセンターの運営に対する支援に努めてまいります。

次に、障がい者福祉計画につきましては、居住環境の基盤整備の早期実現に向けてNPO法人や関係団体と積極的に協議を進めるとともに、障がい者の個々の状況に応じた支援の充実に努めてまいります。

さらに、チャレンジ雇用による社会訓練の場の提供と支援を行ってまいります。

町国保病院では、周辺地域の拠点病院として診療体制等さらなる充実に努めます

引き続き医師、看護スタッフなどの確保を進め、経営体質の強化に努めてまいります。診療体制は、内科、外科の基礎診療科を中心に、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科など、町民の医療ニーズに応えた専門診療科の充実に



町国保病院では、周辺地域の拠点病院として診療体制等さらなる充実に努めます

感染症対策につきましては、新年度から乳幼児の予防接種であるヒブと小児肺炎球菌ワクチン、中・高校生女子を対象とした子宮頸がんワクチンが定期接種化されることになり、接種体制の充実にも努めてまいります。

成人保健につきましては、子宮がん検診、乳がん検診、大腸がん検診の新規受診者の掘り起こしなど受診者数の拡大を図ります。

心の健康づくり事業につきましては、心理カウンセラーによる相談体制の充実を図るとともに、心に不安や悩みを抱えた人の身近な相談者となるサポーターの養成に引き続き取り組みます。

老人ホームの運営につきましては、利用者のニーズや状態に合ったサービスを提供するとともに、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援を行います。

引き続き、運営主体の広域連合と連携を図ってまいります。

次に、病院事業につきましては、「いつでも」「どこでも」「安心して」暮らせる地域社会を医療面から支える病院を目指すこととして策定した「中・長期計画」を推進し、現在の医療水準の確保を図り、周辺地域の拠点病院としての役割を担ってまいります。

病院の運営につきましては、引き続き医師、看護スタッフなどの確保を進め、経営体質の強化に努めてまいります。診療体制は、内科、外科の基礎診療科を中心に、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科など、町民の医療ニーズに応えた専門診療科の充実に

引き続き、運営主体の広域連合と連携を図ってまいります。

次に、病院事業につきましては、「いつでも」「どこでも」「安心して」暮らせる地域社会を医療面から支える病院を目指すこととして策定した「中・長期計画」を推進し、現在の医療水準の確保を図り、周辺地域の拠点病院としての役割を担ってまいります。

病院の運営につきましては、引き続き医師、看護スタッフなどの確保を進め、経営体質の強化に努めてまいります。診療体制は、内科、外科の基礎診療科を中心に、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科など、町民の医療ニーズに応えた専門診療科の充実に

引き続き、運営主体の広域連合と連携を図ってまいります。

次に、病院事業につきましては、「いつでも」「どこでも」「安心して」暮らせる地域社会を医療面から支える病院を目指すこととして策定した「中・長期計画」を推進し、現在の医療水準の確保を図り、周辺地域の拠点病院としての役割を担ってまいります。

病院の運営につきましては、引き続き医師、看護スタッフなどの確保を進め、経営体質の強化に努めてまいります。診療体制は、内科、外科の基礎診療科を中心に、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科など、町民の医療ニーズに応えた専門診療科の充実に





66年の歴史に幕を閉じ、平成26年4月から本別中学校に統合される仙美里中学校

以来66年間の歴史を閉じ、平成26年4月から本別中学校に統合することといたしました。非常に寂しいことではございますが、子供たちが安心して学べる教育環境を維持しながら円滑な統合に向けて取り組み、地域、保護者の皆さまで組織されております協賛会と協力しながら、最後の年に相応しい各種事業を実施することとしております。

食育の推進については、食習慣のあり方、食物への感謝の気持ちや食育指導の充実に取り組みむとともに、地場産の食材を活用して、栄養バランスのとれた学校給食の提供に努めます。

学校給食共同調理場の改築については、平成25年度中に完成し、平成26年4月からの供用開始に向けて取り組んでまいります。

次に、社会教育の推進については、「第7次本別町社会教育中期計画」の下、各種学習機会の提供や明るい地域社会の創造を目指します。

「家庭教育支援事業」については、子育て支援や家庭教育充実に向けた総合的な取り組みを進めるとともに、「学校支援

地域本部事業」では、学校・家庭・地域が一体となり、より効果的な学校支援に努めます。

また、「勇足地区放課後子ども教室」を引き続き開設し、放課後の子供たちの居場所づくりと健全育成を図るとともに、本別・南三陸ふるさと交流研修では、両町の子供たちの絆をさらに深めることができるよう推進いたします。

芸術文化の推進については、個人・サークル・芸術文化団体等と連携して展示会や各種発表会の開催、伝統文化の継承活動の支援および北海道大会等に対する助成など、自主的な芸術文化活動に対する支援に努めます。

また、本年度から図書館ボランティアの運営による喫茶コーナーを新たに設けます。

資料館事業では、「7月15日本別空襲を伝える」企画展を開催し、空襲による銃痕が残る壁の一部を常設展示し、歴史学習や平和学習の場として活用いただきます。さらに、ほんべつの歴史を深める取り組み「商店街のうつりかわり」「林業のまちなんべつ」等の企画展を開催いたします。



今年も開催されるチャレンジデー 全町民参加率50%を目指します

社会体育活動につきましては、年齢や性別を問わず、スポーツを楽しむことができるよう「あかげら少年団」「健康づくり教室」を開催いたします。

子供たちが、恵まれた自然や深い歴史と素晴らしい風土の中で、心豊かにそして、すこやかにたくましく生きていくように、また、町民の皆さまが芸術や文化そして、スポーツに親しみ、明るく元気で、喜びと希望に満ちた暮らしとなりますよう、教育委員会は全力で取り組んでまいります。

# 教育行政執行方針



教育行政執行方針を述べる 水谷令子教育委員長

## 教育行政執行の基本的な考え方

確かな学力、豊かな心、健康な体の育成など、子供たちが、未来に向かって、たくましく生き抜いていく「生きる力」を育む教育を一層推進するとともに、家庭、学校、地域が一体となった取り組みを展開し、子供たちの教育やまちづくりを主体的に参加する「ひとづくり」を進めます。

## 主要施策の推進

「ほんべつ学びの日（四つの風）事業」のさらなる充実のため、家庭・学校・地域が連携しながら、大人と子供たちが共に日々学ぶ取り組みを推進いたします。

学校教育につきましては、全国学力・学習状況調査の結果、一定の成果が見られる一方で、自らの考えを書く力や学習習慣の定着などに課題が見られました。これらの分析をもとに各学校が学校改善プランなどを作成し、確かな学力の向上を図るため発達段階に合わせて授業を工夫・改善する教育を目指すとともに、基本的な生活習慣や学習習慣が身につくように、それぞれの学校が特色ある教育課程の編成に努めます。また、家庭学習においては、家庭学習の手引きを作成するなど、児童生徒の学力向上に向けた取り組みを推進いたします。



地域の先生を活用した授業。知識と知恵を学びます

総合的な学習の時間や職場体験学習などに、地域の皆さまの知識と知恵を積極的に活用するなど、「命の大切さ」や「思いやり」の心を身に付けるための取り組みを進めます。

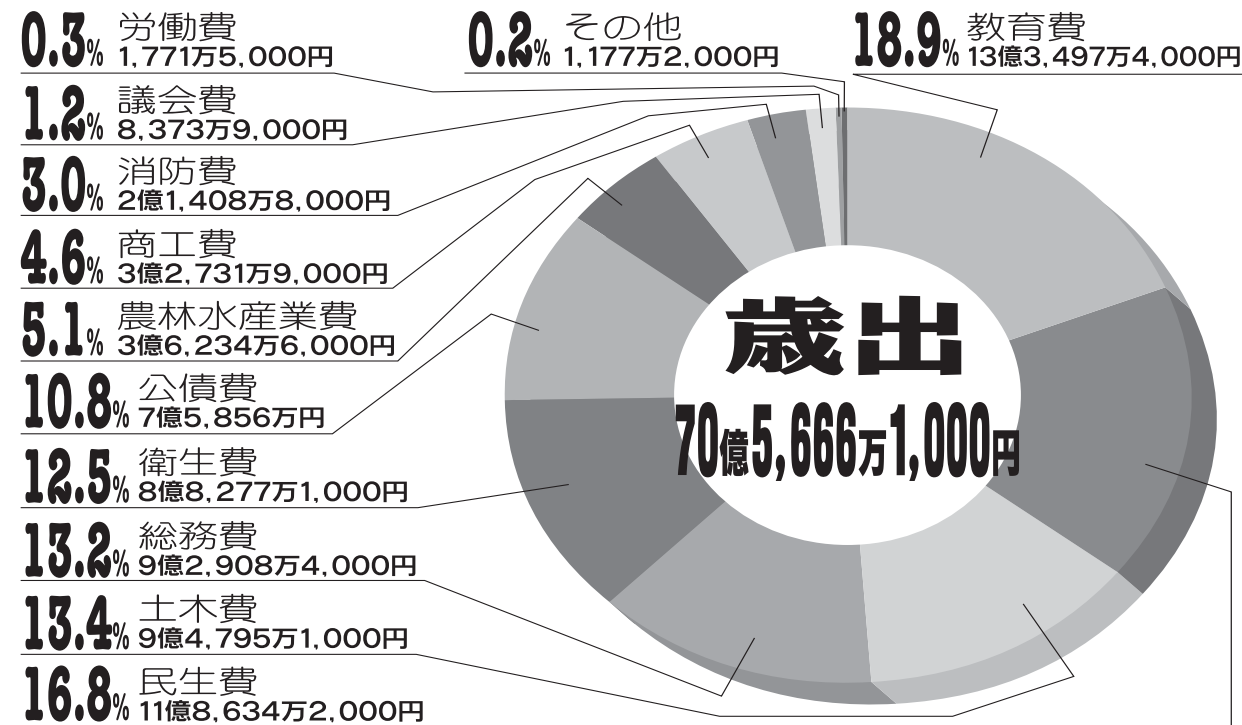
特別支援教育については、引き続き町内全校で支援が必要な子供たちに応じた個別支援を充実いたします。

いじめや不登校などの取り組みについては、中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育アドバイザーの定期的な学校訪問を継続するとともに、本別高校への進学を促すべき各種支援策のPRなどを行い、存続活動を強化いたします。





# 平成25年度 119億591万8,000円



## 各会計別当初予算額 (単位：千円・%)

会計区分	本年度A	前年度B	差引(A-B)C	C/B×100			
一般会計	7,056,661	6,304,238	752,423	11.9			
特別会計	国民健康保険	1,226,198	1,264,871	△ 38,673	△ 3.1		
	後期高齢者医療	114,888	113,797	1,091	1.0		
	介護保険事業	811,916	811,718	198	0.0		
	介護サービス事業	282,568	284,483	△ 1,915	△ 0.7		
	簡易水道	160,587	100,665	59,922	59.5		
	公共下水道	512,486	497,295	15,191	3.1		
小計 (1)	10,165,304	9,377,067	788,237	8.4			
企業会計	水道事業	収益的収入	146,359	144,461	1,898	1.3	
		支出(2)	146,359	144,461	1,898	1.3	
	資本的収入	収入	38,500	41,610	△ 3,110	△ 7.5	
		支出(3)	79,845	89,143	△ 9,298	△ 10.4	
	病院事業	収益的収入	収入	1,263,378	1,344,392	△ 81,014	△ 6.0
			支出(4)	1,376,756	1,448,826	△ 72,070	△ 5.0
		資本的収入	収入	109,791	116,291	△ 6,500	△ 5.6
			支出(5)	137,654	143,550	△ 5,896	△ 4.1
合計 (1)+(2)+(3)+(4)+(5)	11,905,918	11,203,047	702,871	6.3			

一般会計 70億5,666万1,000円  
 特別会計 31億 864万3,000円  
 企業会計 17億4,061万4,000円

財政基盤の確立と生活に密着した事業の確保、町民が夢と希望の持てる施策の展開を図ります

## 平成25年度予算編成

平成25年度の予算規模は、一般会計および特別・企業会計を合わせて予算総額119億591万8,000円となり、前年度と比較すると6.3%の増となっています。予算編成にあたっては、依然として財政状況の厳しい中、財政健全化に配慮しながら、総合計画に掲げる本別町の主要課題である (1)新たな仕事づくりの創造 (2)少子高齢化過疎対策の取り組み (3)高速自動車道路網、高速通信網の利活用 (4)循環型社会の構築 (5)地産地消の取り組みを進めるために必要な施策を盛り込んだ予算としました。

## 一般会計予算の概要

一般会計予算の総額は、70億5,666万1,000円で、前年度当初予算63億423万8,000円と比較し、11.9%の増となっています。

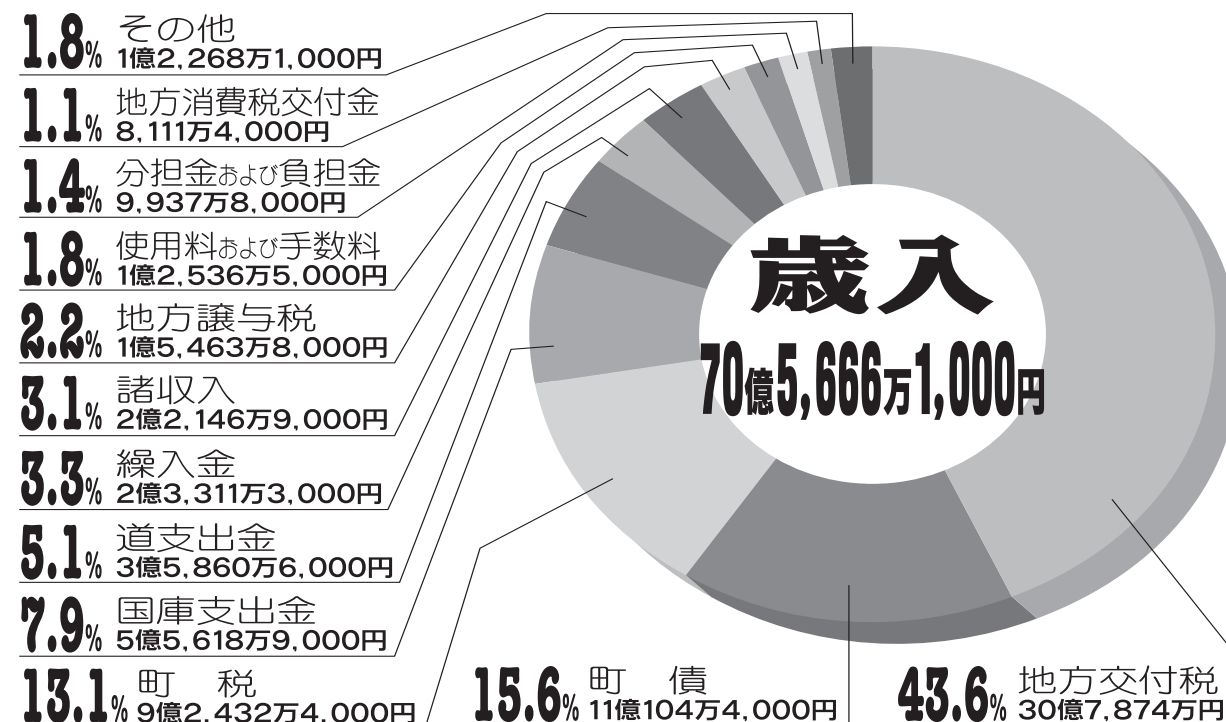
歳入については、町税は歳入の13.1%を占めており、前年度当初予算と比較すると、2,686万8,000円、3%増の9億2,432万4,000円を見込んでいます。主な要因としては、町民税個人所得割が645万7,000円、2%増、町たばこ税が785万円、12.6%増となっています。

地方交付税は、総額で歳入の43.6%を占めていますが、普通交付税については、個別算定経費の減、公債費算入額の減などから、前年度当初と比較し622万5,000円、0.2%減の28億2,930万4,000円を見込み、特別交付税を含めた地方交付税総額は、30億7,874万円を見込んでいます。

繰入金は、総額2億3,311万3,000円のうち財政調整基金をはじめとした基金繰入金を2億3,310万円とし、前年度の1億6,981万6,000円に対して、6,328万4,000円、37.3%の増としました。財政調整基金は前年度比8,000万円増の1億9,000万円、減債基金は前年度同額の1,000万円、職員退職手当基金を3,000万円計上しています。

地方債は、11億104万4,000円で、前年度比5億4,030万円、96.4%の増となっておりますが、医療機械器具、過疎債ソフト事業および臨時財政対策債を除く普通建設事業充当分は7億6,650万円で、前年度の2億2,290万円に対して5億4,360万円、243.9%の増となっています。主な要因としては、学校給食共同調理場改築事業に5億8,730万円を計上したことによるものです。

歳出については、投資的経費は16億4,422万3,000円を計上しており、前年度当初予算と比較し、6億1,811万9,000円、60.2%増となっています。主な要因としては、学校給食共同調理場改築事業に6億6,065万3,000円を計上したことによるものです。雇用対策については、今年度も継続される、国の緊急雇用創出推進事業として633万1,000円、季節労働者雇用対策として389万円、その他ワークシェアリングおよび障がい者のチャレンジ雇用を計上いたしました。





# 特集

# 本別町のお金の使いみち

今年度主な事業あれこれ

☆印は新規事業です

平成25年度的一般会計予算の主な事業について、ソフト事業、ハード事業に分けて説明します。


## ソフト事業編 Part 1

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど  
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

### 本別町行財政改革の推進

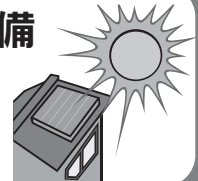
第4次行財政改革大綱および推進計画の推進  
(平成23~27年度)

- ・事務事業の再編、整理、廃止、統合
- ・新しい公共による民間委託等の推進
- ・補助金の見直し
- ・使用料、手数料の見直し
- ・組織、機構の見直し



### ☆大規模太陽光発電施設の整備

- ・設置場所～本別町西美里別「太陽の丘」  
本別町勇足元町「勇愛工業団地」
- ・整備規模～3メガワット



### 起業家支援奨励金

新たな事業活動、新分野での活動、新製品の開発に対する支援を行います。

- ・起業家支援
- ・新製品等開発支援 **1,000万円**

### ☆地域資源活用可能性調査

企業誘致に伴う資源調査、企業ニーズ調査およびコーディネート

**315万円**

### いきいき商品券事業

地域商工業の活性化および景気対策として商工会に補助します。

- ・4,000万円分の商品券を発行、額面の15%上乗せ **650万円**

### 雇用対策事業

- ・緊急雇用創出推進事業 633万1,000円
- ・観光地域づくり調査業務
- ・障がい者雇用推進
- ・チャレンジ雇用の実施 85万8,000円
- ・季節労働者雇用対策 389万円
- ・ワークシェアリング枠 (高校生3人) 519万9,000円

**総事業費 1,627万8,000円**

### ☆企業誘致奨励金

設備投資額の8% **2,000万円**

### 生活維持路線バス(浦幌線)の運行

浦幌駅～本別町国保病院間を、1日4便、本別町と浦幌町の共同負担により予約制で運行します。

**1,368万8,000円**

### 地方バス路線運行維持対策

十勝バス帯広陸別線を維持するための対策を図ります。

**363万9,000円**

### 保育所児童輸送業務

美里別保育所の仙美里保育所への統合に伴う子供たちの送迎業務です。

**204万2,000円**



### 包括ケアシステム (地域支え合い体制づくり) 事業

障がいのある町民が、地域で安心して暮らせるよう町関係施設を専用回線で結び、支援に必要な情報を途切れることなく受けられるように情報共有システムを構築します。

**57万3,000円**

### 安心生活創造事業

一人暮らし高齢者等が安心して暮らせるよう「見守り」や「買い物支援」を行います。

**1,046万7,000円**

### 地域活動支援センター事業

- ・町内小規模作業所 **21万6,000円**
- ・広域利用促進 **35万円**

### 障がい者自立支援給付等

- ・補装具給付・修理 身体障がい者等 212万5,000円
- ・自立支援医療 一般医療 (人工関節等) 17万6,000円
- 人工透析 2,353万1,000円
- ☆育成医療 17万1,000円
- ・在宅精神障がい者通所交通費助成 9万4,000円
- ・介護給付・訓練等給付 身体障がい者 4,635万7,000円
- 知的障がい者 1億3,663万2,000円
- 精神障がい者 841万2,000円
- 障がい児 19万6,000円
- ・地域生活支援事業 1,987万1,000円

- 日常生活用具給付事業 移動支援事業
- 成年後見制度利用支援 日中一時支援事業
- 生活サポート事業 社会参加促進事業
- 身体障がい者自動車改造費助成
- 肢体・言語・情緒障がい児通園助成
- ピアカウンセリング派遣事業
- コミュニケーション支援事業

**総事業費 2億3,756万5,000円**

### 妊婦健康診査助成

- ・妊婦検診 14回分
- ・超音波検査 8回分

**472万4,000円**

### インフルエンザ 予防接種助成

対象：幼児、小・中・高生、高齢者

**205万円**



### 乳幼児・学童 定期予防接種の充実

**832万円**

### 特定健診および 各種がん検診の充実

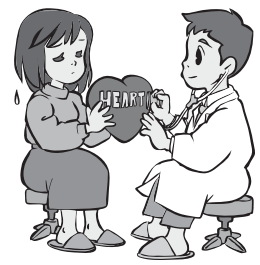
クーポン券による子宮頸がん検診、乳がん検診、大腸がん検診など。特に人間ドックの胃がん検診については、胃バリウム検査に加えてペプシノーゲン・ピロリ菌検査をすることで、より精度の高い検診を受けることができます。

**1,067万9,000円**

### 精神保健対策の充実

自殺予防対策として心理カウンセラーによる相談を月1回開催するとともに、心に不安や悩みを抱えた人の相談者となる人材の育成に取り組みます。

**69万7,000円**





### 介護サービス事業特別会計

- ・本別町指定居宅介護支援事業所の運営
- ・本別町指定介護予防支援事業所の運営

3,660万7,000円



### 介護保険特別会計

#### 市民後見推進事業

本別町あんしんサポートセンターの運営に対する支援および市民後見人活動の支援体制の構築

517万4,000円

#### 地域支援事業

##### 1. 介護予防事業

- ①通所型介護予防（運動器機能向上・栄養改善・口腔機能向上など）
- ②訪問型介護予防（うつ・認知症・閉じこもりの予防と支援）
- ③地域介護予防活動支援（認知症予防教室等の地域活動組織の育成と支援）

1,421万3,000円

##### 2. 包括的支援事業（地域包括支援センター）

- ①介護予防マネジメント
- ②総合相談支援／権利擁護／虐待防止支援
- ③包括的継続的マネジメント

3,019万3,000円

##### 3. 任意事業

- ①家族介護事業
  - ・認知症高齢者見守り事業（やすらぎ支援事業）他
- ②その他事業
  - ・介護相談員の養成および派遣事業
  - ・成年後見制度利用支援事業 他

294万円

### 病院事業 医療機器購入

X線テレビ装置更新等

5,644万7,000円

### 防災対策事業

- ・非常用食料および防災資機材の整備
- ・地域防災研修会および災害図上訓練の実施

541万1,000円

### 東日本大震災 被災地等支援事業

宮城県南三陸町「福興市」参加支援

97万2,000円

### ☆図書館事業「図書館喫茶コーナー」の開設

くつろぎながらゆったりと読書を楽しむことができる図書館づくりを目指し、図書館ボランティアの運営による喫茶コーナーを新たに設けます。

6万5,000円

### 資料館事業「七月十五日本別空襲を伝える」 ～十勝に残る戦争跡地を訪ねて～

空襲を伝える貴重な物や写真を展示するとともに、十勝管内に点在する戦争跡地を巡ります。また、空襲体験者の話を子供たちに紹介し、平和の大切さを伝えます。この企画展に合わせ、本別空襲の銃痕が残るJA本別町倉庫の一部を常設展示します。

28万4,000円

### スポーツイベント「チャレンジデー2013」の開催

○開催日 5月29日（水）

毎年5月の最終水曜日に全国一斉に実施されている住民総参加型のスポーツイベントです。年齢や性別を問わず15分以上運動するだけで、誰でも気軽に参加できます。

12万円

### ☆体育の日イベント

#### 「義経の里スポーツフェスティバル」の開催

町民マラソンや義経伝説散策、ゲームラリーなど、子どもから高齢者までスポーツ、健康づくりに親しめるイベントです。

12万円

### ふるさと交流研修事業

第29年次を迎えるふるさと交流研修会は、南三陸町の子供たちとの交流を通して、少年活動のリーダーを多く育て、両町の子供たちの絆をさらに深めます。

59万円

### ☆各種芸術大会への助成

教育および芸術文化において優秀な成績を収め、北海道および全国大会等に参加する団体および個人の活動を評価・奨励するために、参加にかかる経費を助成します。

20万円

## ソフト事業編 Part 2

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど  
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

### 農業振興人材育成事業

人材育成事業の一つとして、「農業塾」を開講し、諸問題に対処できる人材を育成します。

126万円

### 担い手への農地集積推進事業

農地の利用集積により経営規模拡大に協力する農地所有者に助成します。

390万円

### 青年就農給付金

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農直後の所得確保を支援します。

300万円

### ☆農業振興地域整備計画変更

農業振興地域の見直し作業

467万5,000円

### ☆てん菜作付振興透排水性改善対策事業

てん菜の作付維持確保および輪作体系の確立のため、圃場の透排水性を図る農業者を支援します。

286万円

(本町負担分 143万円)

### 環境保全型農業直接支払事業

地球温暖化防止、生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。

800万円

### 本別町黒毛和種資質向上対策 優良繁殖雌牛保留促進事業

(30頭)

120万円

(本町負担分 60万円)

### 生乳生産基盤維持向上・ 経営安定特別対策事業

(200頭)

600万円

(本町負担分 200万円)

### ☆農業基本構想の策定

平成25年度を目標とした農業基本構想が完了することから、新たな構想を策定します。

54万5,000円

### ☆仙美里中学校閉校記念事業協賛会補助金

仙美里中学校は平成26年4月から本別中学校に統合し、66年の歴史に幕を閉じることとなります。最後の年にふさわしい各種事業を展開し、平成26年2月に閉校記念式典および惜別の会を挙ります。

450万円

### 本別高校の教育を考える会補助金

#### ①一般事業

本別高校パンフレット、PR用チラシ作成

#### ②進路指導対策事業

進路意識啓発講演会、進路指導講師招聘、視察研修、資格取得補助、オープンキャンパス参加補助

#### ③学力向上対策事業

模擬試験受験補助：進学・就職模擬試験受験料補助教材活用：駿台予備校サテライトDVD購入

#### ④特別活動支援

部活動補助、大会参加交通費支援、外部指導者謝礼

#### ⑤通学費支援

遠距離通学補助、下宿補助 815万2,000円

### 小学生小松島市交流研修

友好都市である小松島市と本町の小学生を相互に派遣し交流を深める事業です。本年度は小松島市立立江小学校児童が本別町を訪れます。

25万円

### 勇足地区放課後子ども教室の開設

親が働きながら安心して子育てができるよう、地域との協働により子供たちに体験や学習、交流等の機会を提供し、放課後の子どもの居場所づくりと健全育成を図ります。

126万5,000円

### 「ほんべつ学びの日」関連事業

家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒になって学びへの関心を高める「ほんべつ学びの日」を、広く町民に普及啓発し、学習意識の高揚と地域の教育力向上を図ります。

・本年度は、物理学者佐治晴夫氏を招き、小学校で「出前授業」を実施します

30万円



**エネルギー対策の推進**  
 平成21年度に策定した本別町新エネルギービジョンに基づき、地球温暖化対策に取り組みます。  
 ○太陽光発電システム導入補助金  
 ・一般住宅 6万円/1kw  
 (上限=4kw、24万円) 10件 **240万円**

☆**路面清掃車の更新**  
 真空吸引式 1台  
**3,466万2,000円**

町道補修工事  
 2,100㎡  
**750万円**

町道歩道拡幅化  
 (バリアフリー) 工事  
 高齢者や障がい者などが、スムーズに横断できるよう歩道の一部を拡幅します。  
 2路線 **560万円**

☆**勇足元町バス待合所整備(2か所)**  
 本別産カラマツ使用  
**100万9,000円**

☆**橋りょう長寿命化事業**  
 幸栄橋、東三号橋調査設計  
 東三号橋補修 **2,000万円**

# ハード事業編 Part 1

建物、道路などの事業

旧ふるさと銀河線跡地の対策  
 本別川橋りょう補修設計業務委託  
**96万6,000円**

☆**都市計画用途地域変更業務**  
 (平成25~26年度)  
**1,085万円**

都市公園安全・安心対策  
 緊急総合支援事業  
 (平成23~25年度)  
 ・本別公園 園路整備 260m  
 ・義経公園 御所改修 5棟  
**1億1,600万円**

このほか  
 道路整備事業として  
 事業費1億1,000万円  
 で4か所の町道を  
 整備します

町道山手朝日線通り道路改良  
 (平成24~26年度)  
 <道路改良工事>  
 総延長=350m  
 幅員=5.5m  
 改良=200m  
**5,000万円**

☆**第2期南地区工業団地整備事業**  
 2.0haの工業団地造成および砂利購入、町道整備、水道・下水道新設  
**8,277万5,000円**

向陽町団地公営住宅  
 改善事業  
 コンクリートブロック造 平屋建  
 1棟5戸 **6,566万1,000円**



# ハード事業編 Part2

建物、道路などの事業

## 農業農村整備事業の推進

道営事業  
 ○畑地帯総合整備事業  
 ・本別地区調査設計  
 ・勇足地区調査設計・工事  
 ・仙美里地区工事  
**6億2,000万円**  
 (本町負担分 1億2,400万円)

## 桜ともみじの山造成事業

(新生地区)  
 <整備> 0.48ha  
 <植樹祭> 230本 **169万7,000円**

## ☆美蘭別地区営農用水事業

・事前調査  
 ・水源調査  
 高密度電気探査、ボーリング調査  
**1,939万6,000円**

## ☆太陽の丘野球場建設

両翼98m 中堅122m  
 グラウンド、バックネット、外周フェンス、ダックアウト、バックスクリーン等整備  
 ※地域の元気臨時交付金事業  
**8,280万円**

## ☆介護基盤緊急整備等特別対策事業

共栄地区集会場、本別生活館、東児童館、総合ケアセンター、ふれあい交流館、世代交流館、老人福祉センター、健康管理センター、中央公民館、勇足地区公民館、仙美里地区公民館 計11施設の改修  
**8,124万1,000円**

## 農地・水保全管理支払交付金

環境の良好な保全と資質向上を図ることを目的として、農業者と地域住民が農道や農業用排水路等の維持管理および環境保全管理の取り組みを行います。  
**2,830万5,000円**  
 (本町負担分 707万7,000円)

## ☆学校給食共同調理場改築

・鉄筋コンクリート造2階建延床面積974.54㎡  
 ・アレルギー食調理室  
 ・研修室(調理場を見学することができます)  
 ・HACCP(危害分析重要管理点方式)を導入したドライ方式で、オール電化に一部ガスを採用  
 平成26年4月供用開始予定  
**6億6,065万3,000円**

## 町有林造林事業

(フラツナイ、新生、美蘭別地区ほか)  
 <下刈> 16.31ha  
 <除伐> 3.80ha  
 <保育間伐> 24.12ha **859万5,000円**

## 民有林造林促進事業

<人工造林> 3ha  
 <下刈> 135ha  
 <除間伐> 60ha  
 <造林未済地対策> 68ha  
**558万8,000円**

## 未来につなぐ森づくり推進事業

<民有林の植栽> 65ha **1,059万5,000円**

## ☆全国瞬時警報システム自動起動装置整備

国から受信した有事・大規模災害などの緊急情報を、防災行政無線を通じて町民に瞬時にお伝えするシステムの整備です。  
**2,245万4,000円**

## 水道事業

浄水場操作制御装置更新工事 **2,441万3,000円**  
 浄水場第2水源取水ポンプ更新工事 **767万6,000円**

## 簡易水道事業

☆美里別配水池水位計更新工事 **135万5,000円**  
 ☆美里別No.3取水井水位計更新工事 **252万6,000円**  
 ☆勇足浄水場No.2ろ過池損失水頭計更新工事 **263万6,000円**  
 ☆仙美里ポンプ場薬品注入ポンプ更新工事 **160万6,000円**  
 ☆仙美里簡易水道配水管整備 **5,967万7,000円**

## 下水道事業

公共下水道  
 処理場機器更新等 一式 **8,376万9,000円**  
 個別排水処理施設  
 合併処理浄化槽新設 9基 **2,011万3,000円**

## 街路灯整備事業

本別市街北地区・仙美里地区LED灯整備  
**2,380万円**



「福祉でまちづくり」宣言記念事業

平成24年度「福祉でまちづくり」宣言記念事業（本別町健康寿命のまちづくり会議主催・三枝金作会長）が3月18日、「本別から市民後見のこれからを考える！」をテーマに、中央公民館で開催されました。記念事業では、さわやか福祉財団理事長で弁護士堀田力氏による記念講演のほか、市民後見人養成研修の終了報告および修了証授与式が行われ、約200人の来場者が成年後見制度や誰もが安心して暮らせるまちづくりについて理解を深めました。



認知症でありても、  
「尊厳」ある生き方を

キーワードは「尊厳ある生き方」。堀田氏は、「本別から市民後見のこれからを考える」と題し、認知症患者や施設の入所者らとの出来事を振り返りながら、本人が一番いい生き方とは何かを来場者に問いかけ、その一つとして「安心した生活が保障され、やりたいことができる環境で暮らすこと」であると強調。そのためにも、本人の立場に立つて判断できる後見人の必要性を訴えました。



- ① 宮内康二特任助教
- ② ③ ④ (右から) 受講生代表の藤井勝敏さん、横山小月さん、新津和也さん
- ⑤ 修了証を受け取る加藤恵美子さん
- ⑥ 市民後見人養成研修を修了した18人の受講生

市民後見人養成  
研修終了を報告、  
受講生に修了証

記念事業では、1月17日から2月22日まで、延べ50時間にわたった市民後見人養成研修の終了報告も行われました。報告では、同研修の講師で東京大学政策ヒジョン研究センター宮内康二特任助教から成年後見制度の概要や研修内容が紹介されたほか、受講生代表の3人が研修に参加したきつかけや苦労、今後の活動への思いを語りました。引き続き、同研修の修了証授与式が行われ、18人の受講生がステージ上に並び、一人ひとり紹介された後、竹内弘一勝総合振興局環境福祉長から、受講生代表の加藤恵美子さんへ修了証が手渡されました。

国民年金  
10年

『学生納付特例制度』とは？

その132

学生納付特例制度は、所得が無い学生が将来、年金を受けることができなくなることや、不慮の事故等により障がいが残ってしまった場合に、障害基礎年金を受けられなくなること等を防止するため、ご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

★本人の所得のみで審査

学生納付特例はご本人の所得のみで判定することになりますが、所得のある人については、基準額以下の場合に特例を受けることができます。

※学生は、学生納付特例制度のみご利用いただけます

★学生納付特例期間の年金はどうなるの？

「納付」と「学生納付特例」と「未納」はこのように違います。

年齢基礎年金 計 算	納付		学生納付特例		未納	
	年金額に 入ります	入ります	入ります	入ります	入りません	入りません
○	○	○	○	○	×	×
×	×	×	×	×	×	×
×	×	×	×	×	×	×

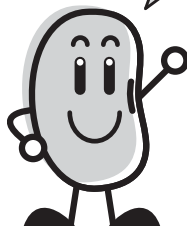
- 障害基礎年金および遺族基礎年金を受給されるためには一定の受給要件があります
- 学生納付特例を受けた期間は、将来受ける年金の受給資格期間に算入されますが、年金額には反映されません
- 学生納付特例が承認された期間の保険料は、10年以内であれば、古い期間から順に納付（追納）が可能です。（ただし、承認を受けた年度から起算して、3年度以降は、当時の保険料に一定の金額が加算されます）

★保険料の追納はどうするの？

追納にあたっては、別途申請書の提出が必要になります。申し込みは本別町役場住民課戸籍年金担当または帯広年金事務所（☎015516515003）で行うことができます。

平成25年度の  
国民年金保険料額は  
1か月15,040円です。

お支払い方法によってお得な割引制度もありますので、お気軽にお問い合わせください。



詳しくは  
住民課戸籍年金担当へ

☎22-8128



# 受賞おめでとうございます

## 平成24年度 町教育功績者 少年少女文化特別賞 少年少女文化・スポーツ奨励賞

### 26個人、5団体

平成24年度「町教育功績者表彰式」ならびに少年少女文化特別賞、少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式」が3月9日、来場した多くの保護者や関係者が見守る中、中央公民館で執り行われました。両式典とも、主催者を代表して水谷令子教育委員長のあいさつに続き、高橋正夫町長ならびに川一郎町議会議長がお祝いのごとばを贈りました。町教育

功績者表彰を受賞した今井範行さんは「今後も子供たちが安心して大きく羽ばたける地域社会になるよう尽力します」、少年少女文化特別賞、少年少女文化・スポーツ奨励賞受賞者代表の古山聖也さんは「感謝の気持ちを忘れず、この賞を励みにより一層頑張ります」とお礼のごとばを述べました。功績者および受賞者は次の通りです。(敬称略)

### 教育功績者

学校教育活動を始めPTA活動の推進と教育振興への多大な貢献  
今井 範行  
(本別中学校PTA副会長)



### 少年少女文化特別賞

#### 【団体】

川崎 順未 (中央小5年)  
川崎 育愛 (中央小5年)  
第3回北海道ジュニアピアノコンクール  
連弾初級・子どもデュオ…最優秀賞  
第4回全日本ジュニアピアノコンクール  
連弾初級・子どもデュオ…金賞



### 少年少女文化奨励賞

#### 【個人】

島山 七海 (勇足小2年)  
2013カワイこどもコンクール  
ピアノ連弾部門Aコース…入賞  
ピアノソロ部門Aコース…入賞  
久常 かなめ (勇足小2年)  
第36回ピティナ・ピアノコンペティション・演奏検定帯広地区予選  
A1級…努力賞  
第22回グレンツェンピアノコンクール  
鉦路予選  
小学校1、2年Bコース…優秀賞



久常 優花 (勇足小6年)  
第36回ピティナ・ピアノコンペティション・演奏検定帯広地区予選  
C級…努力賞  
第22回グレンツェンピアノコンクール  
鉦路予選  
小学校5、6年Bコース…金賞



貝沼 朱音 (仙美里中2年)  
平成24年度十勝子ども大会  
英語暗唱の部…最優秀賞





**少年少女スポーツ奨励賞**

**井出優太** (仙美里中3年)  
第45回受信環境クリーン図案コンクール：北海道受信環境クリーン協議会 奨励賞



**小川泰弘** (仙美里中3年)  
第45回受信環境クリーン図案コンクール：北海道受信環境クリーン協議会 会長賞入選

**【団体】**  
**宮崎愛望** (中央小6年)  
第45回カワイ音楽コンクール北海道本選会  
ピアノ部門Bコース連弾の部 努力賞

**向井大貴** (中央小5年)  
第30回北海道小学生陸上競技大会  
小学5年男子走高跳……………第8位



**佐藤朱理** (中央小5年)  
第24回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会  
小学5年女子50mバタフライ……………第1位

**広瀬蘭** (中央小5年)  
第30回北海道小学生陸上競技大会  
小学5年女子走高跳……………第3位

**古山聖也** (本別中3年)  
第43回北海道中学校陸上競技大会  
男子走幅跳……………第3位

**【個人】**

**前田泰河** (中央小1年)  
第16回十勝年別水泳競技大会  
男子25m背泳ぎ8才以下……………第1位

**荒井唯花** (中央小1年)  
第24回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会  
小学1年男子50m自由形……………第1位

**前佛倅多** (中央小2年)  
第36回幕別町陸上選手権大会  
小学2年男子400m走……………第1位



**松井翔耶** (中央小2年)  
第34回十勝地区空手道選手権大会兼第67回国民体育大会空手道競技十勝地区予選  
小学生1、2年の部男子形……………優勝

**岡崎小春** (本別中3年)  
第43回北海道中学校スケート・アイスホッケー大会  
女子500m……………第6位  
女子1000m……………第5位

**【団体】**

**本別水泳スポーツ少年団** (4人)  
第16回十勝年別水泳競技大会  
女子200mフリーリレー8才以下……………第1位

**本別中央ジャンプ**

**スポーツ少年団** (13人)  
第32回道新カッパ北海道小学生バレーボール大会帯広地区予選  
男子・混合の部……………優勝  
第32回道新カッパ北海道小学生バレーボール大会道東大会  
男子・混合の部……………優勝  
第29回北海道小学生バレーボール大会選抜優勝大会  
男子・男女混合の部……………第3位  
ファミリーマートカップ第32回全日本バレーボール小学生大会帯広地区予選女子の部……………優勝  
ファミリーマートカップ第32回全日本バレーボール小学生大会北海道大会女子の部……………第3位  
第32回全十勝スポーツ少年団バレーボール大会

**井出依快** (中央小1年)  
第17回十勝ジュニアスピードスケート選手権大会  
小学1年女子総合……………第1位

**岩本瑞紀** (中央小1年)  
第24回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会  
小学1年女子25m自由形……………第1位

**前佛倅多** (中央小2年)  
第36回幕別町陸上選手権大会  
小学2年男子400m走……………第1位

**松井翔耶** (中央小2年)  
第34回十勝地区空手道選手権大会兼第67回国民体育大会空手道競技十勝地区予選  
小学生1、2年の部男子形……………優勝



ル交歓大会兼第10回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会十勝地区予選  
女子の部……………優勝  
第31回ミカサカップ全十勝小学生バレーボール大会  
女子の部……………優勝  
第21回ブレイオフ杯全十勝小学生バレーボール大会  
女子の部……………優勝  
ななかまど杯第18回北海道小学生バレーボール大会  
女子の部……………第2位



**志谷遥名** (中央小2年)  
第15回十勝新春水泳競技大会  
女子25m背泳ぎ8才以下……………第1位

**小松翔暉** (中央小3年)  
第24回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会  
小学3年男子25m自由形……………第1位

**木下あいか** (中央小4年)  
第24回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会  
小学4年女子50m背泳ぎ……………第1位

**田中琉々** (中央小4年)  
第30回北海道小学生陸上競技大会十勝予選会兼帯広会場記録会  
小学4年女子ソフトボール投……………第1位

**丹羽隼己** (中央小5年)  
第16回十勝年別水泳競技大会  
男子100m自由形9、10才……………第1位

第24回全十勝スポーツ少年団水泳交歓大会  
小学5年男子100m背泳ぎ……………第1位

**本別中学校剣道部** (7人)

第42回全十勝中学校夏季剣道大会  
男子団体戦……………優勝  
第15回全十勝中学校秋季剣道大会  
男子団体戦……………優勝



お礼を述べる古山聖也さん





## 本別町自殺予防対策事業

# かけがえのない命を 守るために

特別な人に起こるのではなく、家族や友人など誰にでも起こりうる自殺。  
自殺や自殺未遂は、当事者も辛く、苦しい思いを受けますが、その周囲にいる多くの人も心理的影響を受けると言われています。  
町では自殺を未然に防ぐため、今年度も専門家によるこころの健康相談窓口を開設し、「かけがえのない命」を守るための取り組みを進めます。

- ②そのときどのような対応をされましたか
- 職場 通院を勧めた、家族と相談、医者に対応方法等確認、職場の環境整備、入院、復職に向けたリハビリなど
- 学校 (児童・生徒) カウンセリング、学級担任が個別に対応、心の相談など
- (職員) 管理職を中心に対応、通院を勧めるなど
- ③現在メンタル不調の職員、児童、生徒はいますか
- 職場 いる 115 企業
- 学校 いる 113 校
- ④どのような予防対策、研修等を行っていますか
- 職場 保健師による健康相談、産業医との連携、研修会の開催、相談体制の強化、声掛けなどでコミュニケーションを図るなど
- 学校 (児童・生徒) いじめをなくそう集会の開催、子どもの様子を観察、スクールカウンセラー活用など
- (職員) 声掛け、管理職へ相談、レクリエーション、飲み会など
- ⑤メンタルヘルス対策を町へ望むとしたら、どのような役割体制をとってほしいですか
- 職場

職場や本人が気軽に相談できる体制の強化、研修会の開催など
- 学校 研修会の開催、相談窓口の本化、スクールカウンセラーの配置など
- ⑥その他
- 職場 メンタルヘルス不調者が増えている、若い人にストレスを抱えやすい傾向がある
- 学校 職員の親睦を深める場を設置、仕事を抜けてカウンセラーなどを受けるのが難しい

**相談を受ける立場にある人を対象にした研修会を開催**

北海学園大学法学部後藤聡氏を講師に迎え、「あらゆる相談者の心に寄り添うために」をテーマに健康管理センターで開催しました。相談を受ける側に立つ、町内の小中学校や企業、団体から45人が参加し、メンタルヘルスに関する知識を深めました。



## 自殺者の現状

昨年の日本での自殺者数は15年ぶりに3万人を下回りました。しかし、北海道では約1200人、本別町でも数人の尊い命が失われています。日本の自殺者数は、平成10年に急増。平成23年まで年間約3万人を超える水準で推移していました。この急増は、男性中高年自殺者数の増加が主因になっています。

自殺の主な原因や動機としては、健康や経済・生活問題が挙げられます。また、自殺の背景には、精神障がいや思っている人が多く、そのうち約半数にうつ病など心の病気が隠れている傾向があります。

## 本別町の取り組み

町保健師が、町内の学校、主な職場を訪問しメンタルヘルス(心の健康)の状況を調査

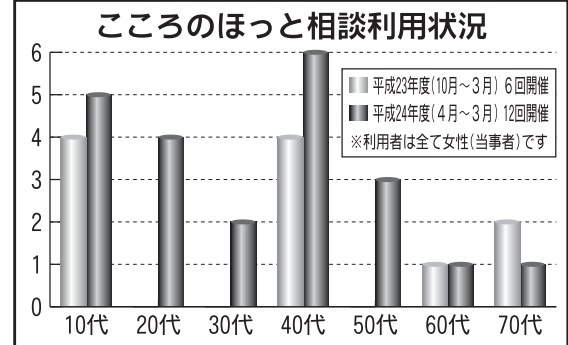
### 調査結果

- 対象：町内の7企業、小中学校、高校、農業大学校
- ①職場・学校で過去3年間にメンタルヘルスにかかわる不調や業務上の支障が生じた事例がありますか
  - 職場 ある 11 全企業
  - 学校 ある 113 校

## 専門カウンセラーによる心の健康相談窓口を開設

浮き彫りになった課題  
男性中高年自殺者の増加が問題とされていますが、こころのほっと相談窓口を利用した男性は現在まで一人もいません。このことから、男性は悩み事や心配事があっても、相談せず(できず)一人で抱え込んでしまう傾向があると伺えます。

本別町ではこの現状を踏まえ、今年度も尊い命を守る取り組みとして、こころのほっと相談を開設します。



こんな悩みはありませんか…

- ☆気分が落ち込む ☆死にたくなる ☆職場に行くのがつらい ☆学校に行きたくない、行けない
- ☆朝になると体がだるい ☆前は楽しみにしていたことが楽しくなくなった ☆人に会いたくない
- ☆誰にも言えないが、人間関係で悩みがある など

**ご利用ください!**

# こころのほっと相談

一人で悩まず  
なんでもご相談ください。

町では、ひとりで悩み事を抱え込みどうしていいかわからないとき、一緒に気持ちを整理するお手伝いをするため、心理カウンセラーがお話しを伺う「こころのほっと相談」を開設しています。

誰かに話すことで、気持ちが楽になったり、問題の整理をすることが出来ます。

相談内容の秘密は堅く守られますので、安心してご利用ください。

- 相談日 平成25年4月23日(火)、5月23日(木)、6月17日(月)、7月25日(木)、8月20日(火)、9月27日(金)、10月25日(金)、11月19日(火)、12月17日(火)
- 平成26年1月16日(木)、2月19日(水)、3月18日(火)

**健康管理センター** ☎222-2221

予約および問い合わせ

**相談員プロフィール**

スベース リ・ポーン代表  
心理カウンセラー

1999年大阪から十勝へ移住。管内の高校生や大学生、子育て中の人から職場等、幅広い分野でのカウンセリングを展開。一人ひとりの話をよく聴き、少しでもストレスを減らせるよう支援している。

資格：日本産業カウンセラー協会認定シニア産業カウンセラー  
およびキャリアコンサルタント

時間 午後3時、午後4時、午後5時、午後6時  
※希望の時間をお選びください  
※相談時間は1人50分で、1対1での相談となります

ところ 健康管理センター2階  
相談員 心理カウンセラー 圓山 嘉都美さん

相談内容 精神や身体の健康、人間関係、仕事や職場、学校やひきこもりなどの悩みや心配事について

対象 全町民  
(ご本人以外の家族や職場関係者も利用できます)

相談料 無料

予約 事前に予約が必要です





# Information

## 住民総参加型スポーツイベント

# CHALLENGEDAY

**対戦相手決定**

対戦相手が、3月8日に決まりました。

対戦相手は…… **なんぶ ちよう 南部町** (山梨県)

南部町は、山梨県の最南端に位置する陸奥国の南部氏の発祥地として知られています。特産物には、「たけのこ」「南部茶」「南部の木」などがあります。

### ▶南部町と本別町の概要

項目	南部町	本別町
チャレンジデー実施回数	初参加	3回目
人口(H25.2.1)	8,911人	8,074人
面積	200.63km <sup>2</sup>	391.99km <sup>2</sup>
年平均気温	14.7℃	6.4℃
年降水量	2483.1mm	788.5mm



### 本別町チャレンジデー2013

- とき** 5月29日(水) 午前0時～午後9時
- ところ** 町内ならどこでもOK
- 対象** 子どもから大人
- テーマ** スポーツは健やかな日々へのパスポート

### 参加団体を募集しています!!



実行委員会では、健康づくりのきっかけとしてチャレンジデーに参加する自治会、企業、グループなどの団体を募集しています！参加される団体には参加賞を用意するほか、自治会の取り組みはチラシに掲載いたします。詳しくはチャレンジデー実行委員会事務局までお問い合わせください。

### 本別町チャレンジデー参加自治会の声

錦町自治会総務部長 中野利彦さん



昨年初めて、錦町自治会としてチャレンジデーに参加しました。平日なので、高齢者向けにラジオ体操と、散歩がてらのゴミ拾いを企画したところ約30人の参加がありました。おしゃべりしながら楽しく体を動かすことができ、さらには環境美化もできて、一石三鳥の取り組みとなりました。

### 問い合わせ

実行委員会事務局(町体育館内スポーツ担当)  
☎ 22-2331

# 本別町農業塾



本別町営農指導対策協議会(会長 高橋正夫町長)による平成24年度本別町農業塾第4回(最終)が3月6日、北海道立農業大学校加藤和彦校長を講師に招き、中央公民館で開かれました。

## 自信を持つ「おこしめ」を提供

加藤校長は、最初に同校の特色やキャンパスで展開される活動、卒業生の進路などを紹介。続いて、「本別の若い農家に期待すること」をテーマに、現在の日本を取り巻く農業情勢について講演しました。その中で、平成23年度の日本の食料自給率39%(カロリーベース)を例に挙げ、食料の6割以上を外国からの輸入に頼っている現状を指摘したほか、TPP(環太平洋連携協定)締結により関税が撤廃になった場合には、北海道農業が危機的な状況に陥ると強調。このため、生産者は外国からの「安い食料」に負けない、自分たちの作ったものを「おいしい」と自信を持って販売していくことが大切であると述べました。最後に加藤校長は、「経営をしっかりと把握すること」や「知恵を出し合える仲間を作ること」などのアドバイスを送り、出席した若手農業者を中心とした約30人は、真剣な表情で「生き残っていくため」の知恵を学びました。講演終了後には、塾長の高橋町長が、「農業塾で学んだことをぜひ営農に生かしてください。こういう時代だからこそ、前向きになって、笑顔で胸を張って安心安全な食料を生産してください」と閉校のあいさつをしました。



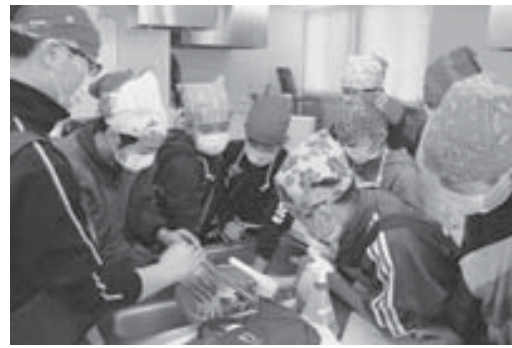
講演する加藤校長



## こしあん完成

2/22

本別中央小学校（岩野真志校長、281人）6年生46人が2月22日、25日の2日間、ゲンキッチンで小豆とてぼう2種類の豆を使った「あんこ作り」に挑戦しました。児童らは、水洗いから、煮る、こす、練るまでの一連の作業に取り組み、艶のある「こしあん」を完成させました。今回の授業は1年を通して活動してきた総合的な学習の「豆の学習」の1コマで、出来上がった「あんこ」は、後日行われた参観日で、大福もちの存在感のある中身になり、保護者に卒業を感謝する気持ちとして手渡されました。



## 心臓マッサージとAEDの操作に挑戦

2/21 3/10

家庭教育支援事業「なかよし」による救急救命講座が2月21日、本別消防署員を講師に子育て支援センターで開催されました。講座では、乳幼児や成人の心肺蘇生法や人工呼吸の方法などが説明された後、4人の参加者が人形を使い、胸骨圧迫による心臓マッサージとAEDの操作に挑戦。子どもの方が一に備えた応急手当・処置の方法を学びました。3月10日には同センターではまキッズファミリーデーとして日曜開放が行われ、お父さんや兄弟と一緒に来所した8組24人の親子が、おもちゃで遊んだり絵本を読むなど楽しいひとときを過ごしました。



## 豊かな音色

2/23

6年生最後の演奏会となる、本別ジュニアプラスアンサンブル（川口正英代表）第15回定期演奏会が2月23日、中央公民館で開催されました。8つのパートに分かれた小学2年生から6年生18人の団員は、4部構成のステージでアニメのテーマソングや歌謡曲など14曲で豊かな音色を響かせたほか、特別出演の本別プラスアンサンブルとの合同演奏では、アンコールを含め3曲を披露。会場いっぱい響き渡る演奏に、来場した保護者や友人など約100人から、大きな拍手が送られました。



## 世代を超えてもちつき交流

2/21

世代を超えた交流を目的とした、ゆうあいの里運営推進会議（小坂英幸委員長）による地域もちつき交流会が2月21日、勇足地区公民館で開催されました。会場にはゆうあいの里利用者や高齢者、勇足小学校児童、勇足保育所の子供たちなど幅広い世代約110人が集合。参加者らは、きねと臼を使い「よいしょ」の掛け声でもちをつき、つきあがったもちは、憩の会（篠原恵子代表）の協力を得て、雑煮やあんもち、きなこもちなどにして参加者全員でおいしくいただきました。



教育目標

壮健 文慶 尚學

各学校の手作りページ

HELLO  
仙美里中学校

生徒・教職員が一体となつて  
教育活動を進めています

後期の学校  
の様子から



1月24日に今年度の生徒会ボランティアとして、校門前の歩道の除雪ボランティアを行いました。



町主催行事にも数多く参加し、2月には「町長と語る会」に参加した生徒会長と副会長が堂々と自分の意見を発表しました。



小学校から中学校への学びの連続性、中1ギャップの解消を目指して仙美里小学校と小中交流授業を進めています。今年度は体育の授業で交流を行いました。



後期の避難訓練では、生徒全員がAEDを使った人命救助訓練を行いました。



平成26年度の本別中学校との統合に向けて美術科と保健体育科の交流授業を行いました。（本別中学校にて美術科デッサンの授業）



冬期間でも屋外で行う体育を重視、スキー学習（糠平）や長靴アイスホッケーを取り入れて実施しています。



## 地元食材が秘める可能性 2/23

地元食材の新しい可能性と食文化の創造に関する講習会（町主催）が2月23日、道の駅ステラ★ほんべつで開催され、農業者など約20人が参加しました。講習会では、東京都京野菜を使ったフランス料理店を展開する「京仏旬菜料理GREEN SPOT」武田実枝子オーナーと武蔵野美術大学基礎デザイン学科宮島慎吾教授が、同店のオープンから本別の食材を使うようになった経緯について説明。続いて、同店信安健一シェフが、素材選定やオリジナル料理を開発するポイントについて語ったほか、新しい食材の提供を呼び掛けました。



## 鍛えた足を披露 2/24

本別陸上クラブ（我妻勇次会長）による今年管内初戦となる第33回本別町室内陸上競技会が2月24日、銀河アリーナで開催されました。競技会には、24種目に町内外の小学1年生から一般まで342人がエントリー。シーズン本番を控えた選手らは、冬場のトレーニングで鍛えた足を披露しました。



## キンボールで交流 2/24

町スポーツ少年団交歓大会（町スポーツ少年団本部主催）が2月24日、町体育館で開催されました。大会には、町内10少年団から14チーム約80人が参加。選手らは、直径1.22mのボールをヒットやレシーブを繰り返し得点を競うキンボールで、爽やかな汗を流し交流を深めました。



## 真剣な眼差しで対局 2/24

第33回町民囲碁大会（町文化協会主催）が2月24日、老人福祉センターで開催され、21人の参加者が対局を繰り広げました。大会は、二階級制によるリーグ戦で実施され、静まり返った室内には、真剣な眼差しで碁を打つ音が響き渡っていました。本別町の上位入賞者は次の通り。

- Aクラス**  
 優勝＝大野正勝さん  
 第4位＝田西美恵子さん
- Bクラス**  
 優勝＝東條 彊さん  
 準優勝＝吉田武久さん  
 第4位＝木村 恵さん



## 華麗な踊りを披露 2/24

第36回舞踊祭（町文化協会・中央公民館主催）が2月24日、中央公民館で開催されました。出演した町文化協会に加盟する舞踊8団体58人は、ステージで日本舞踊やクラシックバレエなど18演目で華麗な踊りを披露し、約150人の観客を魅了。会場からは、踊りが終わるたびに温かい拍手が送られました。



## 意見や要望、苦情があればいつでも相談を 2/25

行政相談懇談会（総務省北海道管区行政評価局釧路行政評価分室主催）が2月25日、南4丁目自治会役員を対象に、世代交流館で開催され、参加者らが相談事例などを紹介するDVDを鑑賞し行政相談業務について理解を深めました。本町では同自治会の菊地利昭さんが総務省から行政相談委員として委嘱されており、「国や市町村の行政について意見や要望、苦情がありましたら、いつでも相談してください」と呼び掛けました。



## 料理講座で牛乳消費拡大 2/26

牛乳消費拡大をねらいとした、本別町食生活改善推進員協議会（小泉優子会長）による料理講座が2月26日、健康管理センターで開催されました。この日は、会員12人が牛乳・乳製品を使った「鶏肉のチーズ焼き」「白花豆のポタージュ」など4品の調理に挑戦。出来上がった料理は、お昼にみんなでおいしくいただきました。



## 故朝日明さんに特旨叙位 2/28

故朝日明さん（元本別町議会議員）が特旨叙位「従六位」を受章され2月28日、高橋正夫町長らが南1丁目の自宅を訪れ、妻の和子さんに位記を手渡しました。朝日さんは昭和45年から町議会の議員、副議長、議長を歴任されるなど、24年の長きにわたり本町産業経済の発展と健全財政の確立、福祉の向上に大きく貢献されました。和子さんは、「皆さんのおかげでこのような立派な章をいただき、主人も感謝していると思います」と喜びを語りました。





## 自殺予防の地域づくりを学ぶ 3 14

生活・介護支援サポーターフォローアップ研修公開講座（本別町社会福祉協議会主催、本別町自殺予防対策事業共催）が3月14日、健康管理センターで開催されました。講座では、「地域で孤立しないためのまちづくりをめざして」と題し、北星学園大学杉岡直人教授が日本における自殺の現状や傾向を解説したほか、自殺予防の取り組み例などを紹介。続いて、町保健師から自殺を防ぐための本別町の取り組みについて説明がありました。参加した62人は、自殺を防ぐための孤立しない地域づくりについて学び、生活介護支援サポーターとしての知識を深めました。



## 高齢者文化祭 3 3

第27回高齢者文化祭（本別町老人クラブ連合会主催）が3月3日、中央公民館で開催され、芸能と作品発表でにぎわいを見せました。芸能発表には、町内老人クラブなど13団体から約80人が出演し、自慢の歌や息の合った踊りを発表したほか、作品発表では手芸や陶芸など数多くの力作が並び、1日を通して多くの来場者の目を楽しませました。



## もちつきで交流 3 4

錦町自治会の認知症予防教室「井戸端教室」（藪谷洋子代表）と本別・フリーライフ（中島由昌リーダー）共催によるもちつき会が3月4日、錦町会館で実施されました。この取り組みは、町内の介護福祉士5人で構成される本別・フリーライフが同自治会を拠点に活動している恩返しにと企画したもので、両団体の31人が参加。きねと石臼を使い、「よいしょ」の掛け声でつき上げられた5kgのモチは、雑煮と汁粉にしてみんなでおいしくいただきました。この他、ビンゴゲームや町保健師による血圧測定なども行われ、参加者らは交流を深めながら楽しいひとときを過ごしました。



## 思い出に残る楽しい時間 3 14

ゆうゆうサークル（山田英雄運営委員長）「6年生を送る会」が3月14日、勇足生きがい館で開催されました。参加した1～5年生30人と6年生8人は、互いにプレゼントを交換した後、お菓子を食べたり、手作りカルタで遊ぶなど、思い出に残る楽しい時間を過ごしました。



## 昔の暮らしを体験 3 1

出前資料館「昔道具体験学習」が3月1日、本別中央小学校（岩野真志校長、281人）3年生52人を対象に同校で行われました。児童らは洗濯板や炭火アイロン、謄写版などを使い昔の暮らしを実際に体験。洗濯板でハンカチをわざわざ洗った児童らは



「腕が痛い」などと声を上げながら昔の人の苦労や知恵を学びました。

## 防災意識を一層高める 2 28

本別町防災会議（会長＝高橋正夫町長）が2月28日、役場で開催されました。会議では、事務局から平成24年度事業の報告があった後、町地域防災計画の見直し、平成25年度防災事業の実施計画について協議。出席者18人全員が承認し、防災意識を一層高めることを確認しました。



## 本別高校卒業式 3 1

本別高等学校（松下龍一校長）普通科第65回卒業証書授与式が3月1日、多くの保護者が見守る中同校で実施され、66人（男30人、女36人）の卒業生が学びやを後にしました。式典では、松下校長が卒業証書を一人ひとりに手渡した後、「持っている力を発揮して、自分の人生を一步一步進み、幸せな家庭を築いてください」とあいさつ。式典終了後には、卒業生を送る会も用意され、在校生から感謝の気持ちを込めたビデオ上映がありました。卒業後は、進学44人、就職22人と進む道は違いますが、新たな夢に向かって一歩を踏み出します。



## 健康体操やゲーム、会食で交流 3 2

清流の里・清流ハウス8利用者と地域の人の交流を目的とした地域交流「ひな祭り」が3月2日、同施設で開かれました。70人の参加者は認知症予防の健康体操で体をほぐした後、ボールを使ったゲームや甘酒、豚汁などの会食で交流を深めながら楽しいひとときを過ごしました。





# みんなの健康

344

貧血と腎臓病。みなさんはこの2つに強い関連があることをご存知でしょうか。

## 腎臓の意外な働きについて

これには腎臓のもう一つの働きが関係しています。ご存知のように腎臓は血液中の老廃物や余分な水分を上手に尿として排泄するという臓器です。それと同時に、血液を作る骨髄を刺激するホルモン（エリスロポエチン）を出していることがわかっていきます。この働きにより、赤血球が作り出され、貧血を免れているのです。

皆さんは、頻回な輸血が必要とされ、肝炎ウイルスの感染にさらされてきた歴史がありました。腎臓がこうしたホルモンを分泌していることは一般にはあまり知られていません。他にも、ビタミンDを活性化してカルシウムの吸収を促進させる機能や、血圧を直接調整するホルモンなども出しています。このように腎臓が弱ると貧血を始め体の様々な調整がうまくいかなくなり、尿が出なくなるだけではなく、貧血も進行するのです。

日本透析医学会の最新の統計で、日本の透析患者数はついに30万人を超えました。実に420人に1人が透析を受けている計算になります。高齢化の進む本別町ではそれよりさらに高い比率で透析患者さんが生活しています。患者さんは、週3回人工透析に通わなくてはならないことや水分制限、食事制限を余儀なくされます。それに加えて、今回お話しした貧血を始めとする皆さんの合併症に向き合いながら生活されています。周りの私達もこうした患者さんたちの苦勞を知っておくことも大切です。

本別町国民健康保険病院  
人工透析室  
室長補佐 白山英明

# 未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。  
お父さん、お母さんのたくさんの愛に包まれてすくすく元気に育つてね！



北6丁目  
古川 奈菜 (咲ママ)



東仙美里  
塚林 ことね (香奈ママ)



北6丁目  
水城 芽依 (莉佳ママ)



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

## 内閣府へ派遣

4月1日から、総務課 石川雅康主任 (35) が内閣府へ研修のため派遣されました。  
研修には、全国から7人が派遣され、平成27年4月施行予定の「子ども・子育ての新制度」に伴う準備に当たります。研修期間は2年間です。



# 銀河ホップ・ステップ

## 足寄町

ネイパルあしよろ  
春のごもつエスティバル

春のごもつエスティバルでは、工作や熱気球搭乗体験などたくさん催し物が行われます。お友だち同士やご家族でぜひ遊びに来てください。



## 陸別町

銀河の森天文台  
からのお知らせ

□天文台開館時間の変更  
4月1日から9月30日までの期間は、午後2時から午後10時30分までの開館となります。

□土星観望会  
4月24日(水)から5月6日(月)まで観望会を行います。説明会は、期間中の土日・祝日のみ午後7時30分から行います。



□とき 5月5日(日)  
午前9時～午後3時

□ところ 道立足寄少年自然の家 (ネイパルあしよろ)

□内容 熱気球搭乗体験、塗り絵、木の実クラフト、おがクラ、積み木・おもちゃ、絵本の読み聞かせ、木の玉ブール、ヒップホップダンスなど

□詳細 道立足寄少年自然の家  
☎25161111

□ゴールデンウィーク特別開館  
4月27日(土)から5月6日(月)は開館時間が正午からとなります。  
4月29日(月)は、特別開館日となります。

□入館料  
《昼間》 大人 300円  
小人(小・中学生) 200円  
《夜間》 大人 500円  
小人(小・中学生) 300円  
※小学生未満 無料

□問い合わせ 銀河の森天文台  
☎2718100

## 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 金200,000円                | 美里別東中 背戸田利光 (内訳) |
| ★福祉でまちづくり推進事業            | 金40,000円         |
| ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 | 金40,000円         |
| ★自然との共存・環境保全推進事業         | 金40,000円         |
| ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業 | 金40,000円         |
| ★本のまち・夢プラン事業             | 金40,000円         |
| 金100,000円                | 東京都 高橋洋子 (内訳)    |
| ★福祉でまちづくり推進事業            | 金25,000円         |
| ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業 | 金25,000円         |
| ★自然との共存・環境保全推進事業         | 金25,000円         |
| ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業 | 金25,000円         |

## ご寄付ありがとうございます

平成25年2月27日から3月14日  
次の通りご寄付をいただきました。  
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町老人ホーム指定  
タオル160本……昭和21年戊年会員一同  
タオル60本……栄町 佐藤忠則  
バスタオル5枚、タオル6本…新町 戸田みき

★本別町国民健康保険病院指定  
タオル75本  
……本別町役場職員夫人一同 代表 高橋照子



# 本のある暮らし

145

# 図書館がぶつくるカフェ オープン



## 戸籍のまど

### お誕生

2月後半から  
3月前半の  
届出分

濱名桃佳<sup>ももか</sup> 剛広<sup>ごうひろ</sup> 2/22 美里別東中

### ご結婚

(高橋 祐介<sup>すけい</sup> 錦町  
小川 由華<sup>ゆか</sup> 帯広市)

### おくやみ

吉田 忠治<sup>ちゅうじ</sup> 85歳 2/20 北2丁目  
 椿原 金五<sup>きんご</sup> 96歳 2/21 北4丁目  
 伊東 夕力<sup>ゆかり</sup> 92歳 2/23 向陽町  
 三城 貞美<sup>さだみ</sup> 72歳 2/23 北2丁目  
 菅野 實<sup>みのる</sup> 79歳 2/26 東町  
 脊戸田 爲次郎<sup>むつじろう</sup> 96歳 3/2 北5丁目  
 和田 かつみ<sup>かつみ</sup> 100歳 3/6 向陽町  
 高橋 五郎<sup>ごろう</sup> 78歳 3/11 北8丁目  
 渡邊 清<sup>きよ</sup> 91歳 3/11 北7丁目  
 山口 正美<sup>まさみ</sup> 86歳 3/13 北7丁目

とき **5月8日(水)**  
 ところ **図書館1階**

#### ■営業時間

毎週水曜日と金曜日  
 午前10時30分～  
 午後3時30分

※図書館休館日は  
 お休みとなります

#### ■メニュー

- ・コーヒー 100円
- ・ジュース 100円

#### コンセプト

- ・誰もが利用しやすいカフェ
- ・くつろぎながらゆったりと楽しむカフェ
- ・本と人が出会えるカフェ
- ・多様なコミュニケーションが生まれるカフェ

私達がお待ちしています。気軽に利用してね。



図書館ボランティアがぶつくるの皆さん

### ぶつくる 会員 募集中

本好きのあなた、朗読や読み聞かせ、ボランティアに興味のある人、図書館カフェの運営に参加できる人連絡お待ちしています。ぜひ一緒に楽しみましょう！

詳しくは、次までお問い合わせください。

#### 連絡先

図書館ボランティアがぶつくる 小泉優子さん ☎22-7311  
 本別町図書館 ☎22-5112

## わたしたちのまち

前月比

人口 **8,019人(-54)**

男 **3,916人(-49)**

女 **4,103人(-5)**

世帯数 **3,779戸(-44)**

〔2月末日住民基本台帳〕

#### お問い合わせ先

## 本別町図書館

(愛称：ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112